



であなたの手元に届くwebマガジン

# おぼこ稲作情報



2023年3月  
No. 3 9  
JA秋田おぼこ



Youtube  
はじめました



チャンネル登録  
お願いします

# なんとすおぼこ米

かの徳川家康が次から次へと迫りくる問題に対して、悩みに悩んで出した答えがあったからこそ江戸幕府が260年続いたのかもしれない。

大河ドラマに便乗して令和5年秋田おぼこ稲作のテーマは「なんとすおぼこ米」。



いろいろ大変だったのじゃ

## 乾田化促進

向こう一ヶ月の気温は高いと予報されています。天気が良い今のうちに田んぼの停滞水を排水して、田んぼを乾かしましょう。雪解け水が速やかに抜けていくように明渠作溝する、サブソイラ等を施工するなど排水、透水性を改善させてください。



田んぼが乾けば、土中に酸素が入り込み、稲わらの分解が進みます。今のうちに稲わらの分解が進むことで5月下旬からの異常還元(ワキ)を抑えられ、初期生育停滞を防ぐことができます。

また、ぬかるんだ田んぼでトラクター作業をすると、足が取られ深く起こすところ、浅く起こすところができず、田面均平がとれません。水分が多いまま耕起をすると土をほぐさず練ってしまい土中に酸素が供給されません。土中の酸素が少なく、異常還元(ワキ)しやくなり、初期生育に影響が出てしまいます。

**乾田化の7ヶ**

- 土中に酸素が入る。
- ↓
- ワラの分解が進む。
- ↓
- 異常還元を抑えられる。
- ↓
- 初期生育良好♡(o)

また、異常還元時に放出されるメタンガスは地球温暖化の原因にもなるので、排出抑制しなければなりません。

今年の春の天気は  
**怪しい**

だからこそ!  
**丁寧な種子予措を**

**浸種が重要**

●浸種水温12~15℃確保。10以下は絶対NG!

●水交換時に稲袋上下や内側と外側の籾を入れ替える。

●日数や積算水温はあくまで目安として、籾から胚芽が白く透き通って見るようになるまで浸種。

**穂発芽性**  
穂発芽のし難さ = 芽の出難さ

各品種の穂発芽性

- あきたこまち → やや難
- サキホコシ → 難
- 秋のきらめき → かなり難

ゆめおぼこ、めんこいな → 中

春先の天気が怪しいと聞きました。「当たるも八卦当たらぬも八卦」ですが、こんなときだからこそ、丁寧な種子予措(浸種・催芽)をしましょう。

品種特性で穂発芽性「難」とある品種は注意が必要です。積算水温だけでなく、籾の状態も必ず確認して浸種してください。

LINE公式アカウント  
「@ja-obako」で検索  
稲作情報発信中!



ガラケーでも!  
メルマガも始めました  
稲作情報があなたの手元に!

